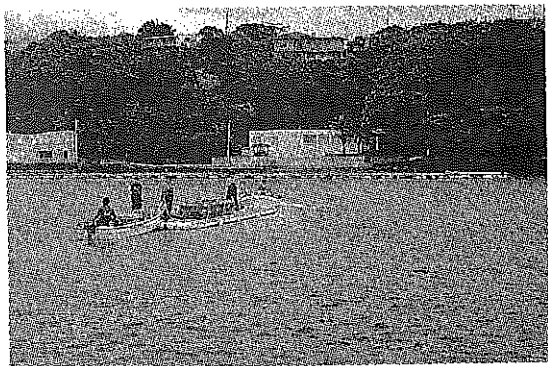


マダイの種苗沖出し 70万尾を7チセン以上に

神奈川県栽培漁業協会



【三崎】神奈川県栽培漁業協会（後藤勇理事長）は6月13日、三崎町の協会施設で飼育していたマダイ種苗を同市小網代湾の同協会の小割りイケスに沖出しし

た。
今後2か月かけて7セ以上に育て、70万尾を目標に同県下の東京湾、相模湾に放流する。
同協会は一昨年まで毎年100万尾のマダイ種苗を東京湾や相模湾に放流してきた。その結果、同県下の魚市場に水揚げされるマダイの5割近くが種苗放流したマダイが大きくなくなって漁獲されたものだった。
ところが平成23年度、同協会が行う種苗生産・放流事業のための補助金が減少したため、70万尾に数を減らした種苗放流を余儀なくされることになった。